

京都側から比叡山walk 雲母坂 & 八瀬ケーブル 2017.5.2.

毎年5月のはじめ 比叡山の直下にある八瀬霊園にお参りに出かける。

家内がもう何十年乗っていない八瀬ケーブルに乗りたいたいという。

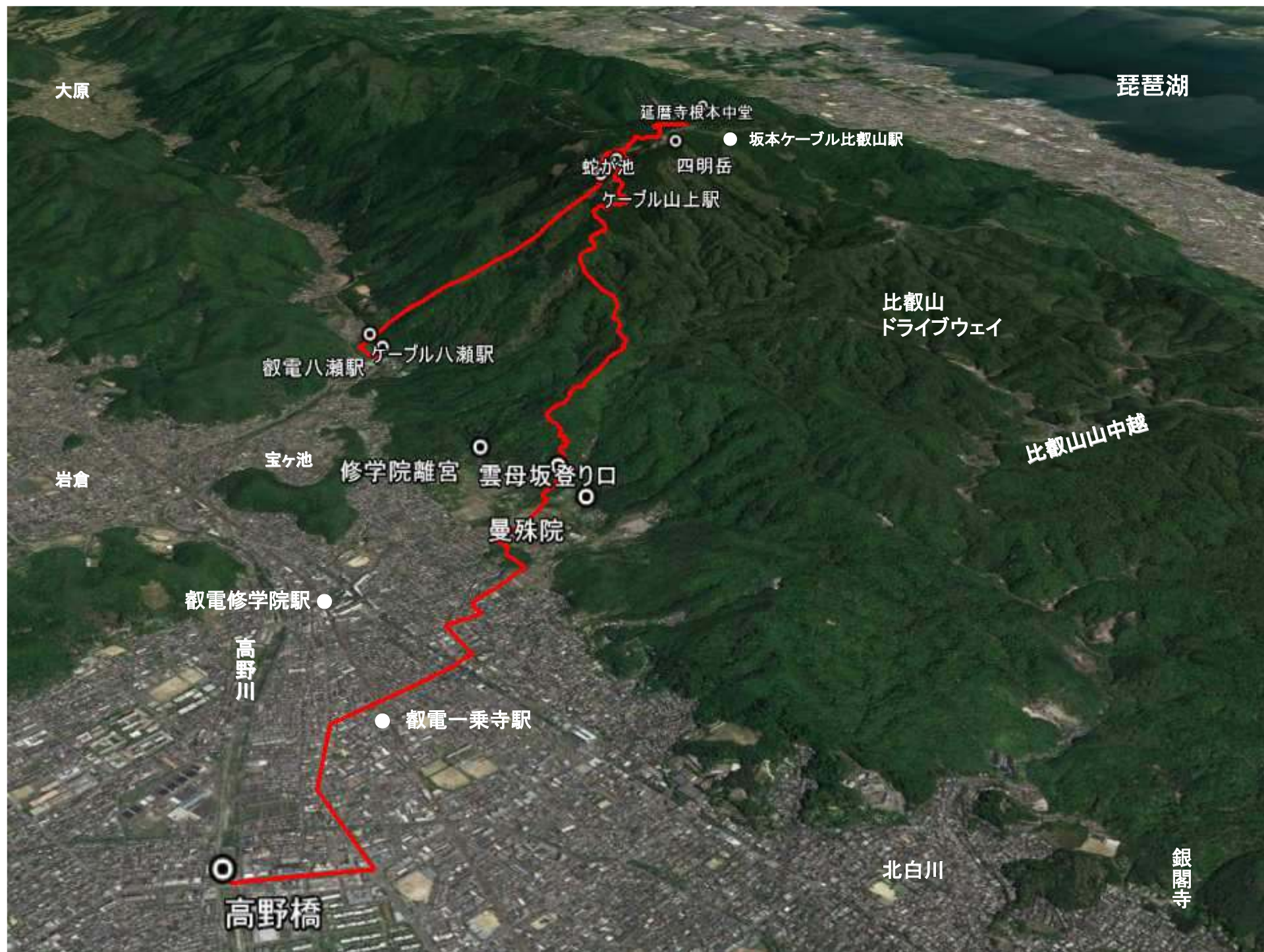
京都人は八瀬ケーブルというと冬のスキー場・夏のお化け屋敷と誰もが知根のですが、最近はお化け屋敷がなくなったという。

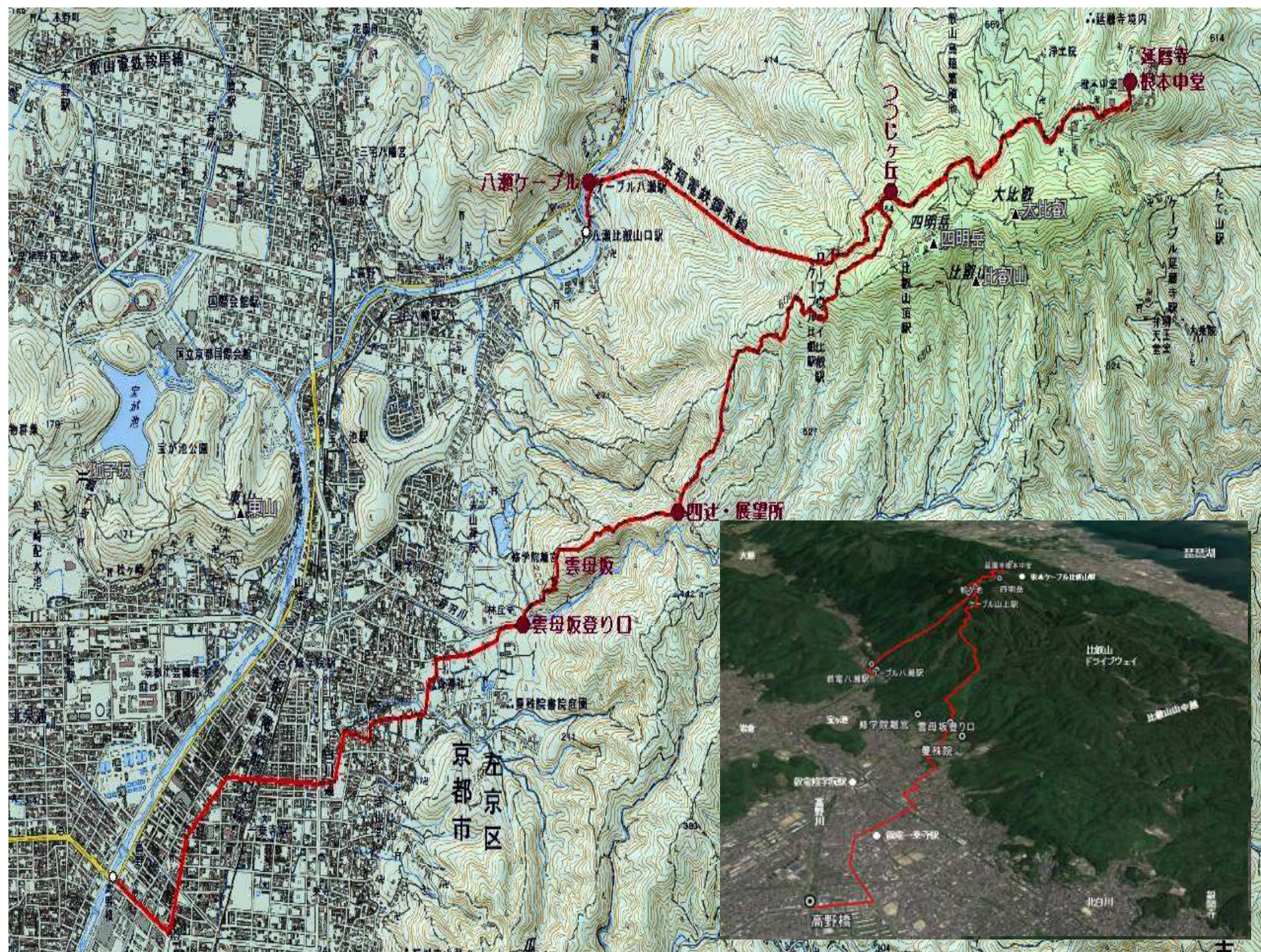
久しぶりに修学院離宮横からの古道 雲母坂を登って、比叡山へ。そして 帰りは八瀬ケーブル。

新緑が心地よい比叡山。晴天に恵まれた比叡山上延暦寺の山間には 新緑に包まれて、見ごろを迎えた石楠花が至る所に咲いて、心地よい緑の空間散歩を楽しんで帰ってきました。



北大路高野橋から眺める比叡山 2017.5.2.







北大路高野橋から眺める比叡山 2017.5.2.

比叡山へ 京都側八瀬より登る 八瀬ケーブル





比叡山へ 京都側八瀬より登る八瀬ケーブル 2017.5.2.



八瀬ケーブルは高低差が日本一の561m。
平均勾配は1/40と急勾配のケーブルカー。

また、雲母坂は琵琶湖と都を最短距離で結
ぶ比叡越の主要古道である。
かつては延暦寺の僧兵たちがこの雲母坂を
神輿を担いで 駆け下りてきたという。





2017.5.2. 8:20 北大路高野橋から比叡山へ 正面に見える雲母坂の尾根筋を登る



高野橋から北東へ 比叡山に連なる東山の山裾へ
一乗寺の町中を抜け、曼殊院道より、鷺宮神社の森を抜ける 2017.5.2.



鷺森神社を抜けると山際、振り返ると愛宕山・西山を背に京都の街がみえ、随分坂道を登ったと。雲母坂の登り口はもうすぐそこである。



鷺森神社を抜けると山際、振り返ると愛宕山・西山を背に京都の街がみえ、随分坂道を登ったと。
この坂道のドンツキのT字路を北に折れると小さな谷筋を音羽川が流れ下る雲母坂の登り口に出る





雲母坂の登り口 橋を渡ると奥へ雲母坂の山路が比叡へと続く 2017.5.2. 9:12



雲母坂は、平安時代より比叡山と都を結ぶ主要通路として賑い、都からの勅使が通ったことから勅使坂とも呼ばれました。法然、親鸞をはじめ多くの人たちもこの坂を行き来しました。比叡山の山法師が神輿を担いで都へ強訴に押しかけたのもこの道とされ、南北朝の戦乱ではこの坂が戦場となり、多くの将兵の血に染まりました。雲母坂の名は付近の花崗岩に含まれる雲母のきらきらした輝きから、こう呼ばれたとされています。また、この比叡山を超えて 鉄が運ばれた和鉄の道でもあるという。

橋の袂に 雲母坂の案内板が建つ雲母坂の登り口 2017.5.2.



比叡山登山口案内





雲母坂は雑木林の中 左手に修学院離宮の網の柵に沿って、溝の中につけられた
きつい登りの山道がくねくねと尾根筋へよじ登って 上へ上へと続く。



雲母坂の坂道 かつては花崗岩に含まれた雲母がキラキラと書かや板という





急な坂道を登り、尾根の上に出ると新緑がまぶしい林の中の道に 2017.5.2. 9:35





尾根筋のこぶを超えて、下りになったところで桂離宮の網柵ともお別れに 2017.5.2. 9:41







京都トレイルに合流 69標識 四辻 水飲対陣跡 周辺
北から赤山禅院・南の北白川から京都トレイルの道に合流して比叡山へ
ここからまたちょっと上ると宝ヶ池方面の展望が開ける場所に



京都一周トレイルに入って直ぐ 北西の宝ヶ池・岩倉側が展望できる場所に 2017.5.2. 9:58





また、すぐ樹林の中の尾根筋に
道の際には立派な巨樹が現れた 2017. 5. 2. 10:03



比叡への尾根筋 新緑に包まれた古道が心地よい 2017.5.2.

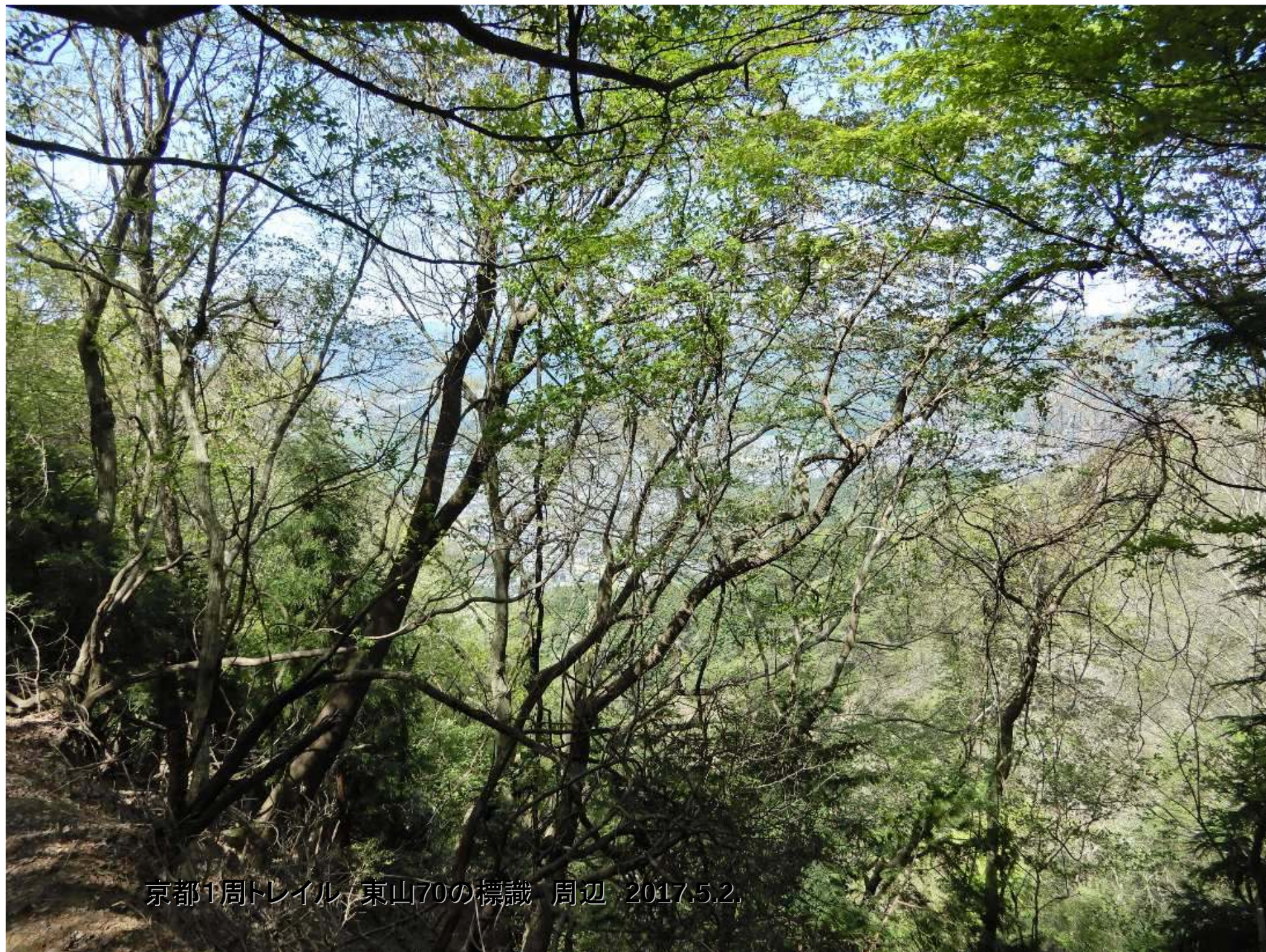


比叡への尾根筋 新緑に包まれた古道 2017.5.2.





京都1周トレイル 東山70の標識 まだまだのぼりが続く 2017.5.2. 10:20



京都1周トレイル 東山70の標識 周辺 2017.5.2.



尾根筋 崖の上にでて、南西側 京都の市街地が見える 2017. 5. 2. 10:25



南西側 京都の市街地【1】 2017. 5. 2.

小塩山から嵐山の山並みを背に 京都の市街地が広がり、右端に双ヶ岡が見え、
中央 鴨川の高野川・鴨川の合流点 御所・下鴨神社 右下に京都工繊大



南西側 京都の市街地【2】西側 2017.5.2.

嵐山から愛宕山の山並みを背後に 衣笠山・左大文字山から連なる西山の山並
中央には松ヶ崎・宝ヶ池の山がどっしりと座り、京都洛北の市街地が眺められる
中央を南北に流れる鴨川の緑の帯 その手前中央 府立植物園も見えている



緑に包まれた明るい雑木林が続く比叡山への道【1】 2017.5.2.



緑に包まれた明るい雑木林が続く比叡山への道【2】 2017.5.2.









比叡山蛇が池のケーブル山上駅のそばの電波塔の横に飛び出し、
南の展望が開ける。2017.5.2. 10:56



比叡山蛇が池 電波塔の丘からの展望2017. 5. 2. 10:56

右奥に淀川をはさんで 男山と天王山・ポンポン山が遠望、その前中央に京都タワーなど市街地が広がる。
左端奥から 東山の将軍塚 その下に蹴上から岡崎 そして緑の神楽岡・吉田山の丘が見える



ケーブル比叡駅の方へトラバースせず、電波塔の横から東へさらに
林の中へ入り、蛇が池のスキー場跡の方へ上ってゆく。



比叡山蛇が池 ケーブル比叡駅周辺で
左手、樹木の間からはケーブル山上駅が見える

2017.5.2. 11:16



比叡山 蛇が池スキー場跡 2017.5.2. 11:27

林の中を抜けると広い草付き斜面 蛇が池スキー場跡に出た。この斜面の上方にロープウェイ比叡山駅がみえる。このスキー場跡のすぐ上が比叡山四明岳山頂である。前回来た時にはこのスロープ横や下に建物があつたのですが、今は何もなくなっていました。今日は延暦寺根本中堂まで歩くので、この斜面の中を北にトラバースする。ここから延暦寺へは 四明岳・大比叡の山の北側を巻いて、広い遊歩道が伸びている。



四明岳・大比叡の北側を巻いて、延暦寺の境内へ続く遊歩道 2017.5.2.

この道の左側は京都側の谷で、京都北山の山並みが見え、谷にはツツジが咲くつつじヶ丘と呼ばれるビューポイント。つつじヶ丘の展望を楽しみながら突端まで行って、ここで昼食に



比叡山蛇が池周辺 つつじヶ丘 2017.5.2. 11:32
この谷一面がピンクに染まるというのですが、今回はちょっと早かったようだ。



比叡山蛇が池周辺 つつじヶ丘 2017.5.2.
まだ 谷には山桜が咲いていました その向こうに岩倉の街がのぞいています



比叡山蛇が池周辺 つつじヶ丘からの遠望 2017.5.2.
谷には山桜が その向こうに京都北山の山並み その下に洛北 岩倉から八瀬の街がのぞいています

比叡山延暦寺 根本中堂へ



つつじヶ丘で 展望を楽しみながら昼食をしてから、根本中堂を目指す

比叡山延暦寺 根本中堂へ

つつじヶ丘で昼食を済ませ、延暦寺根本中堂へ 11:59

比叡山延暦寺 根本中堂へ

下を比叡山ドライブウェイが走る橋 延暦寺山王院前に出て、
比叡山延暦寺の東塔地区に入り、根本中堂を目指す 2017.5.2. 12:04

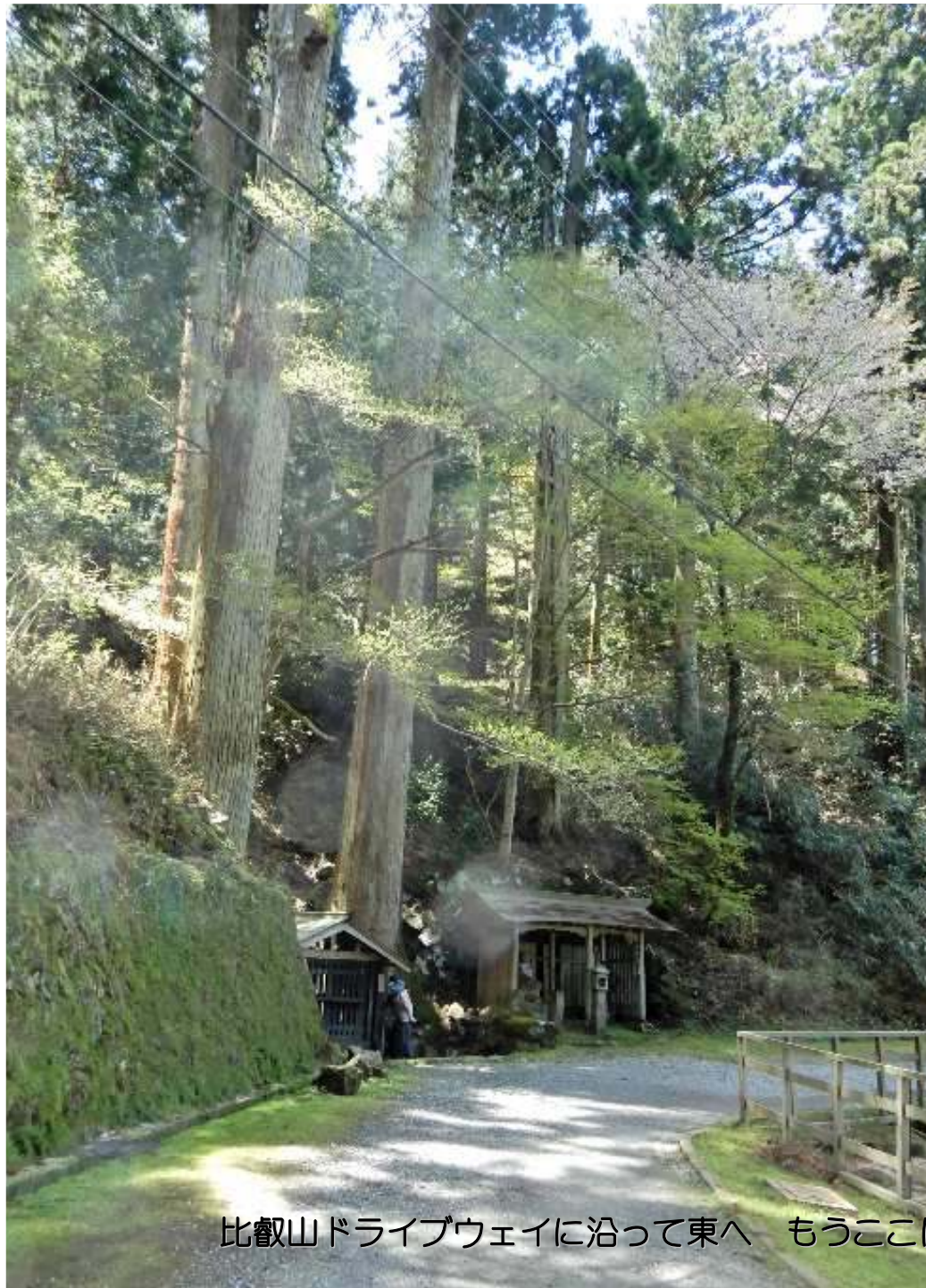


比叡山延暦寺 根本中堂へ



比叡山ドライブウェイの上を渡り、延暦寺山王院前





比叡山ドライブウェイに沿って東へ もうここは延暦寺の境内 弁慶水



境内のあちこちで 石楠花がピンクの花を咲かせていました 2017. 5. 2
法華総持院や阿弥陀堂への参道と比叡山ドライブウェイ沿いの道との分岐 大講堂への階段より



延暦寺 大講堂 2017.5.2. 12:13



大講堂から石段を降りて 根本中堂へ 2017. 5. 2.
根本中堂は今回 改修工事中で 大型機械が入っていました



根本中堂の中へも入れ、ご本尊薬師如来にお参りし、世界平和・そして家族に思いをはせながら頭を下げてきました。ご本尊の前を照らし続けて1200年間一度も消えることなく輝き続けている「不滅の法灯」もじっくり見てきました。 やっぱり1200年の重みはすごいと 気分も新らたです。

文殊楼への急石段の上より、根本中堂 2017. 5. 2. 12:31



石楠花の花の向こうに 延暦寺の山門文殊楼を眺める 2017.5.2.



延暦寺の境内 文殊楼の下の境内からは琵琶湖も中尾をのぞかせていました。

A photograph showing a dirt path leading through a forest. On the left, a large, dark tree trunk frames the path. The path is covered in dirt and small stones, leading towards a clearing where a mountain range is visible in the distance. The sky is blue with some clouds. On the right side of the path, there is a green utility pole with wires. The overall scene is a scenic view from a forested area.

根本中堂のお参りを終えて もと来た道をぶらぶら戻って、
八瀬ケーブル比叡駅からケーブルで八瀬に降りる

2017.5.2. つつじヶ丘で 13:15



2017.5.2. つつじヶ丘で 13:20



つつじヶ丘の遊歩道の上を ケーブル比叡駅と四明岳山上を結ぶロープウェイ



八瀬ケーブルで京都側八瀬へ降りる 2017.5.2. 13:30



比叡山へ 京都側八瀬より登る八瀬ケーブル 2017.5.2. 13:45



叡電八瀬駅 2017. 5. 2.
叡電八瀬から修学院駅で降りて下鴨へ

A wide-angle photograph of a river flowing through a town. In the foreground, the river flows over a rocky bed, creating small rapids. A concrete bridge with a black railing crosses the river on the right side. Behind the bridge, a row of multi-story buildings, including a prominent orange one, sits on a grassy bank. In the background, a large, forested mountain rises against a blue sky with light clouds. Power lines are visible across the scene.

叡電修学院駅西 高野川から眺める比叡山 2017. 5. 2.
今日一日緑の中で遊んだ一日の締めくくり
久しぶりの京都 雲母坂・比叡山・八瀬ケーブル うれしい一日でした



府立植物園横より眺める比叡山 朝 散歩に出て 2017. 5. 3.

蛇が池周辺・四明岳の塔が見え、また雲母坂の尾根筋が正面に

京都側から比叡山walk 雲母坂 & 八瀬ケーブル 2017.5.2.

毎年5月のはじめ 比叡山の直下にある八瀬霊園にお参りに出かける。

家内がもう何十年乗っていない八瀬ケーブルに乗りたいたいという。

京都人は八瀬ケーブルというと冬のスキー場・夏のお化け屋敷と誰もがいうのですが、最近では出かけたことがないという。

久しぶりに修学院離宮横からの古道 雲母坂を登って、比叡山へ。そして 帰りは八瀬ケーブル。

新緑が心地よい比叡山。晴天に恵まれた比叡山上延暦寺の山間には 新緑に包まれて、見ごろを迎えた石楠花が至る所に咲いていました。

心地よい緑の空間散歩を楽しんで帰ってきました。



北大路高野橋から眺める比叡山 2017.5.2.